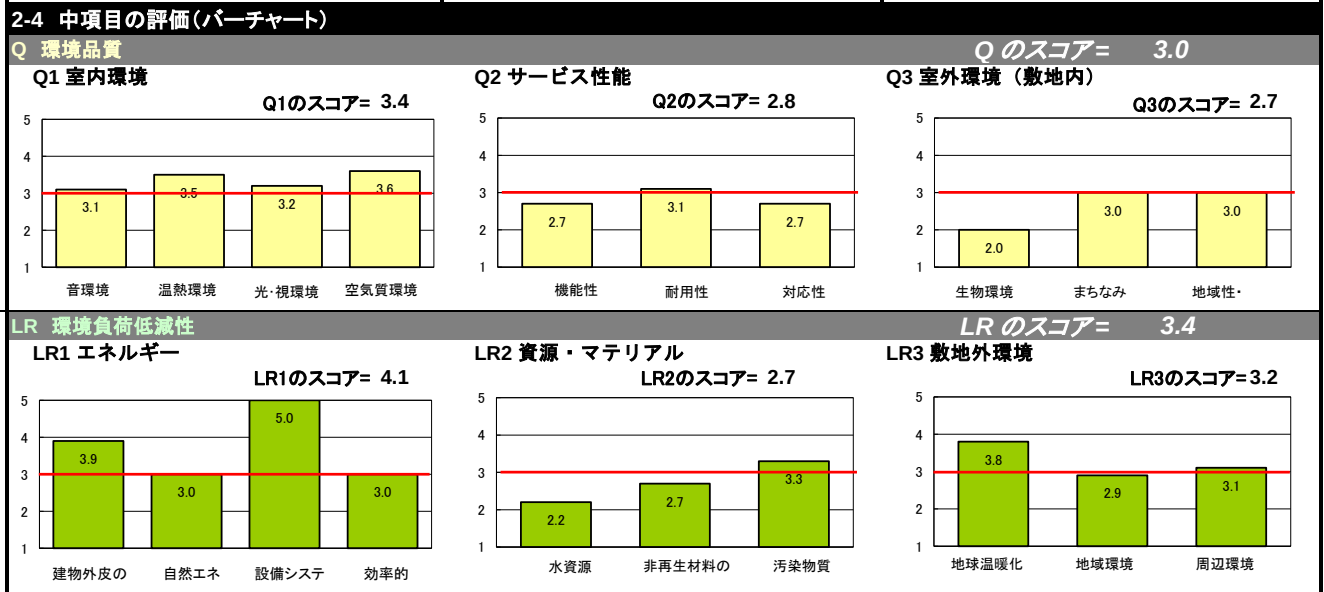
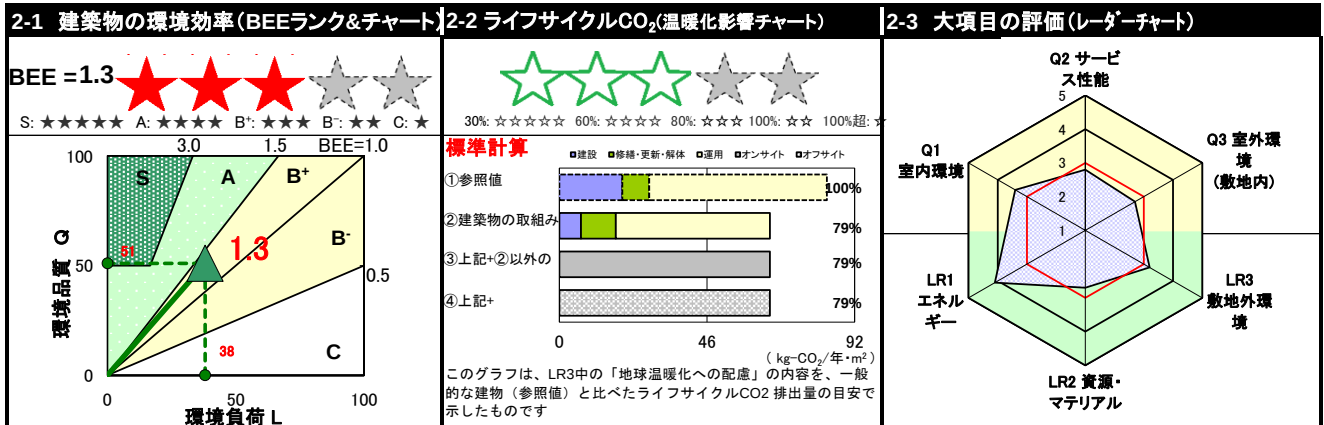


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市旭区今宿南町計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県横浜市旭区今宿南町1701	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	639 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,飲食店,集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年5月17日
敷地面積	7,837 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	3,039 m ²	確認日	2024年5月17日
延床面積	16,338 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
鶴ヶ峰駅からバス5分程度の準工業地域に共同住宅の計画。	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★の建築材料をほぼ全面的に採用している。	構造躯体劣化対策等級3を満たす。	道路沿いに緑地を設け、沿道の情景に寄与した計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
住宅性能表示基準 断熱等性能等級4相当である。	躯体と仕上げ材を容易に分別可能である。	広告照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称

(仮称)横浜市旭区今宿南町計画
新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

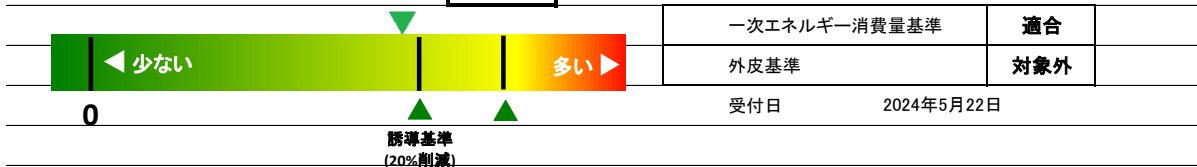
重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 24 %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級における等級4相当である。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪建築材料はJIS/JAS規格のF☆☆☆☆を全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給排水配管の更新必要間隔40年以上

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市旭区今宿南町計画
新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 16 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

適合

受付日

2024年5月22日

誘導基準
(10%削減)

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級における等級4相当である。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥建築材料はJIS/JAS規格のF☆☆☆☆を全面的に採用している。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給排水配管の更新必要間隔40年以上

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

CASBEE横浜 | 評価結果 | 6-017



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)横浜市区今宿南計画 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					-		-	3.0
Q1 室内環境					0.40		-	3.4
1 音環境				2.9	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.3	0.50	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.99	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.01	4.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				1.0	0.00	-	-	-
2 温熱環境				2.2	0.35	4.0	1.00	3.5
2.1 室温制御				2.2	0.50	4.0	1.00	-
1 室温	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境	3.0	0.62	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.37	4.0	1.00	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.01	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				1.2	0.25	4.0	1.00	3.2
3.1 屋光利用				1.8	0.31	4.0	0.50	-
1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.59	5.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.41	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50	-
1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				3.5	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.00	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				1.0	0.00	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	1.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				2.9	0.40	2.6	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				2.9	0.40	3.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.00	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.00	3.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				2.9	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.01	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.00	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.99	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				2.9	0.30	2.7	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり				1.8	0.00	2.4	0.50	-
1 階高のゆとり				1.0	0.60	2.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.00	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.99	-	-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑯生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)横浜市旭区今宿南町計画 新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	3.9	0.20	-	-	3.9
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮				3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策				4.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	5.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	3.0	-	-	-	-